

東北地方 1か月予報

(9月3日から10月2までの天候見通し)

平成17年9月2日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

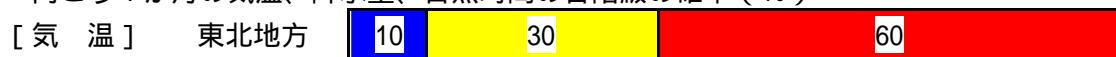
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

期間のはじめと後半は前線や気圧の谷の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いですが、期間の中頃は高気圧に覆われて平年に比べ晴れの日が多いでしょう。特に期間の前半は平年に比べ気温の高い状態が続く見込みです。

向こう1か月の平均気温は高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目、2週目は高い、3~4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 9月 3日(土) ~ 10月 2日(日)

1週目 : 9月 3日(土) ~ 9月 9日(金)

2週目 : 9月 10日(土) ~ 9月 16日(金)

3~4週目 : 9月 17日(土) ~ 9月 30日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月9日

3か月予報:9月22日(木) 14時00分

寒候期予報:9月22日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	18.9	220.8	121.6	20.9	19.7	17.9
新庄	18.6	154.0	112.8	21.1	19.6	17.4
若松	19.5	133.0	124.0	22.1	20.4	18.2
深浦	18.7	172.9	155.5	20.8	19.4	17.7
青森	18.5	119.5	160.8	20.7	19.3	17.3
むつ	17.6	171.9	146.1	19.6	18.4	16.6
八戸	18.2	162.8	144.9	20.2	19.0	17.2
秋田	19.5	175.9	155.7	21.8	20.3	18.3
盛岡	17.9	156.2	126.4	20.3	18.8	16.7
宮古	18.2	228.5	125.1	20.1	18.9	17.3
酒田	20.1	183.3	149.5	22.3	20.9	19.0
山形	19.3	134.3	126.4	21.8	20.2	18.0
仙台	20.0	214.7	120.9	22.0	20.7	19.0
石巻	19.5	164.2	133.8	21.6	20.3	18.5
福島	20.4	169.8	114.4	22.7	21.1	19.2
白河	18.7	215.9	112.0	21.1	19.5	17.5
小名浜	20.9	205.7	134.9	22.8	21.7	19.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.2	85~113	94~108
東北日本海側	-0.6~+0.3	88~112	95~108
東北太平洋側	-0.5~+0.2	87~112	92~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8~+0.7	-0.7~+0.5	-0.5~+0.3
東北日本海側	-0.8~+0.7	-0.8~+0.5	-0.6~+0.2
東北太平洋側	-0.7~+0.7	-0.6~+0.5	-0.5~+0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成17年9月2日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(9月3日~10月2日):

期間のはじめと後半は前線や気圧の谷の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いですが、期間の中頃は高気圧に覆われて平年に比べ晴れの日が多いでしょう。特に期間の前半は平年に比べ気温の高い状態が続く見込みです。

平均気温は高いでしょう。

1週目(9月3日~9月9日):

前線や湿った気流の影響で雨や曇りの日が多いですが、高気圧に覆われて晴れる日もあるでしょう。なお、台風第14号の進路に注意して下さい。

平均気温は高いでしょう。

2週目(9月10日~9月16日):

太平洋高気圧の影響で平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3~4週目(9月17日~9月30日):

前線や気圧の谷の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

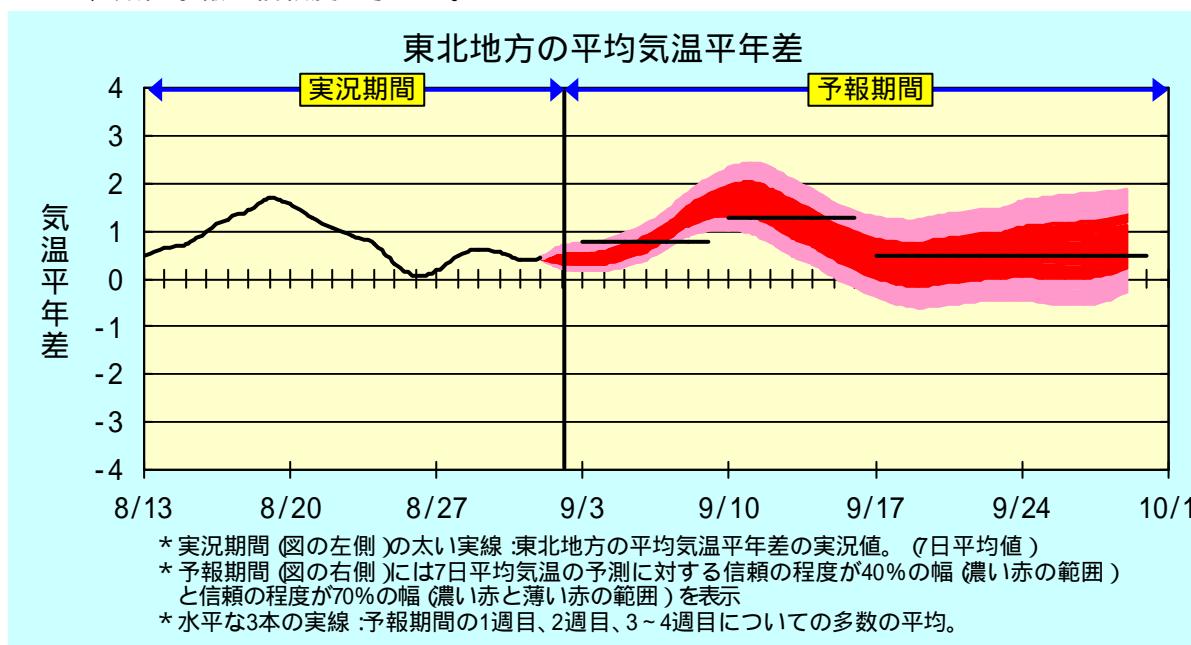
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.2日	3.4日	3.2日	6.6日
東北太平洋側	12.1日	2.8日	2.8日	6.5日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「高い」と予測している。予報はその他の資料から、3~4週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

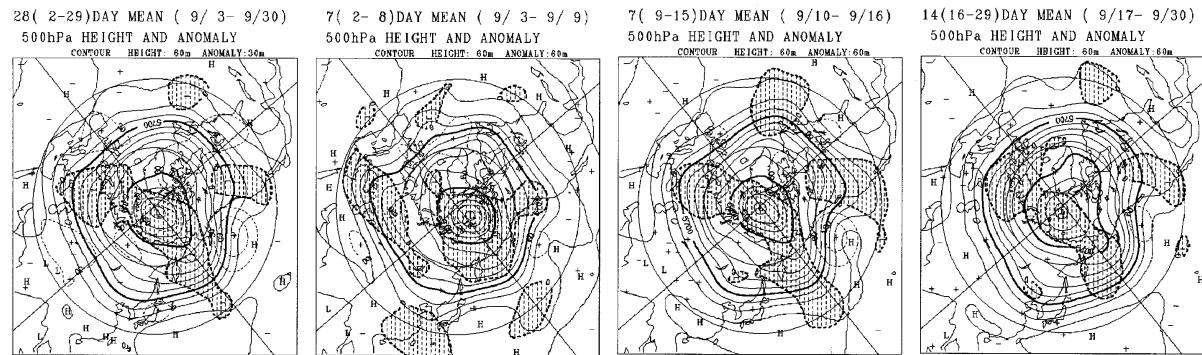


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、南の高気圧の張り出しが強く、日本付近は正偏差だが西谷傾向。

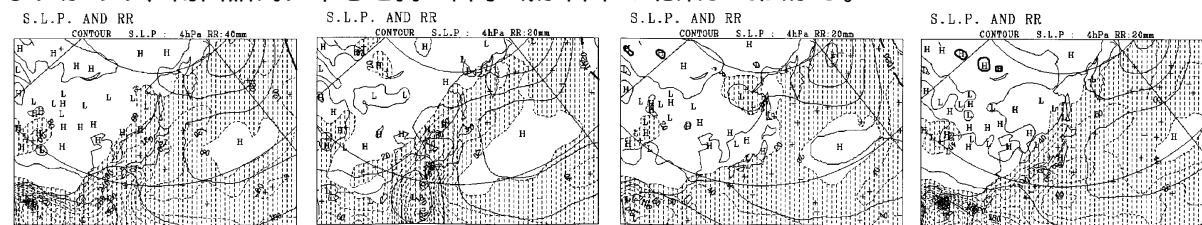
1週目は、極付近に中心を持つ負偏差がカムチャツカ半島まで広がる。日本付近は九州を除き正偏差だが西谷傾向。2週目は、高圧部が東西に延びる。カムチャツカ半島付近から日付変更線付近は気圧の谷となり負偏差。3~4週目は高圧部が東西に延び正偏差となるが、西谷傾向。東シベリアには弱い分流が見られる。



地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧が張り出すものの、南西諸島に中心を持つ低圧部と降水域が本州の東まで広がる。

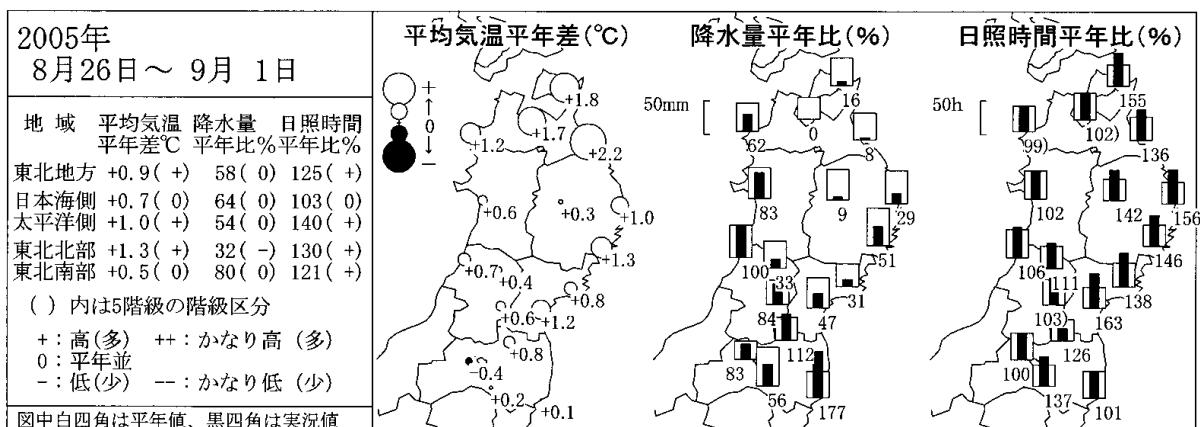
1週目は、熱帯擾乱に対応した南西諸島付近に中心を持つ降水域が本州と日本海に伸びる。2週目は、沿海州の北部からカムチャツカ半島、日付変更線付近にかけて低圧部だが、日本付近は高気圧の勢力下。3~4週目は、太平洋高気圧が張り出し、大陸も高圧部。日本の南岸に等圧線のくびれがあり、南西諸島に中心を持つ降水域が日本の北東まで広がる。



4. 最近1週間(8月26日~9月1日)の天候の経過

この期間、26日は台風第11号の接近により雨で東北南部では大雨となった。28~29日には上空に寒気が入り込みにわか雨や雷雨となる所があった。その後は高気圧が通過し晴れの日が多くなったが、所々でにわか雨となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側が多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)